

業績

【リハビリテーション部】

リハビリテーション課

<口演>

1. 竹崎里保(熊倉真理、高巢暉子、上野可怜、松村拳、石原楨人):気管カニューレ装用後合併症を生じた患者への対応—当院におけるSTへの連絡の役割—,第24回日本言語聴覚士学会,2023年6月23日-24日,愛媛
2. 中野宏治:当院におけるICTを使用した臨床実習支援システム導入への試み,九州作業療法学会2023in鹿児島,2023年7月9日,鹿児島
3. 熊倉真理:軽症から中等症COVID-19罹患後の嚥下障害発生率とその要因,第29回日本摂食嚥下リハビリテーション学会,2023年9月2日-3日,横浜
4. 田邊雄大:頸髄不全損傷患者のADL動作獲得,歩行能力向上に向けた理学療法の試み,鹿児島地区症例検討会,2023年11月17日,鹿児島
5. 徳永風花:左THA revision後に歩行障害を呈した症例への原因分析,鹿児島地区症例検討会,2023年11月24日,鹿児島
6. 元村亮太(元村亮太、城谷茉奈、安藤浩樹、久米康隆):重症脳血管疾患患者の歩行自立度に関する要因の検討—BBSに着目して—,九州理学療法士学会大会2023,2023年11月25日-26日,熊本
7. 森野主也:腰部脊柱管狭窄症術後に残存していた膝折れを改善し、実用性歩行を獲得した例,鹿児島地区症例検討会,2023年12月1日,鹿児島
8. 福留雅也:人工股関節全置換術を施行し自覚的脚長差が生じた症例についての考察,鹿児島地区症例検討会,2023年12月22日,鹿児島
9. 飛松卓:頭部外傷による症状の改善後も、ふらつきや右足部の躓きが残存した症例,鹿児島地区症例検討会,2024年1月19日,鹿児島
10. 井上豪:腰椎固定術後の隣接椎間障害予防として腰椎・骨盤矢状面アライメントに着目した一症例,第37回鹿児島県理学療法士学会 症例検討会,2024年2月23日,鹿児島

<ポスター>

1. 福永将大(松下弘毅):当院回復期病棟における入棟時FIMと転倒の関係と特徴,第10回日本予防理学療法学会学術大会,2023年10月28日-29日,北海道
2. 小濱顕士(東瀬戸拓也、杉安直樹、生駒成亨):COVID-19患者の自立歩行獲得に関連する因子の検討,第37回鹿児島県理学療法士学会,2024年2月23日,鹿児島
3. 田口一精(山下大輔、杉安直樹):頸髄損傷による呼吸筋麻痺で無気肺を呈したが腹臥位療法によって著明な改善をきたした症例,第37回鹿児島県理学療法士学会,2024年2月23日,鹿児島
4. 河野廣大(瀬堀裕太、松下弘毅):回復期リハビリテーション病棟における大腿骨近位部骨折患者の自宅退院を判断する指標について,第37回鹿児島県理学療法士学会,2024年2月23日,鹿児島
5. 下田啓介:【一般演題(ポスター)8 リハビリ & 転倒予防②】大腿骨近位部骨折術後患者における退院時の歩行自立の可否に影響を与える要因の検討,第11回 日本脆弱性骨折ネットワーク学術集会,2024年3月1日-2日,東京都文京区